

東明

令和5年7月21日発行
男鹿市立男鹿東中学校
校長 鳥井 雅則
第4号

この度の豪雨災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

14日（金）の夕方から降り続いた豪雨により、洪水や土砂災害に遭われた生徒及びご家族の皆様、地域の方々に心よりお見舞い申し上げます。土砂崩れや河川の氾濫で通行止めの地域が多数出たこと、避難所への避難を余儀なくされた方も大勢いたとお聞きしています。15日は全県中総体も各地で開催されましたが、実施した競技と延期した競技もあり、当日朝から大混乱でした（延期した競技は、22日、23日、29日に実施予定）。競技終了後、家に帰ろうにも男鹿市までの道路が各地で複数寸断され、急遽宿泊した生徒、途中の避難所に避難した生徒もおり、帰宅すること自体難しい状況だったようです。7月の1か月分の総雨量が一日で降ったような、まさしく今までに経験したことのない豪雨でした。男鹿市では現在、船川地区等の断水がほぼ解消されたと聞いて胸をなで下ろしています。この雨で地盤が緩み、今後の雨量次第では二次被害も心配されるところです。「日本中どこでも水害はありうる」「水害が起きると住んでいる街の様子がどうなるか」「身近な地域の川はどうなるか」「ふだん使う道路に潜む危険箇所はどこか」など、日頃から地域の水害リスクを知り、身を守るための知識や心構えを身に付け、水害時の避難行動に結び付けられるような準備を行うことが重要だということを、改めて思い知らされました。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。被災された皆様の生活が一日も早く平穩に復することを祈り申し上げます。

夏休み開始！



生徒にとっては、待ちに待った夏休み32日間が明日から始まります。前期の前半4か月間、生徒は、ふだんの落ち着いた授業風景、燃え尽きた市郡中総体での活躍、統合記念大運動会での躍動、久しぶりに出かけた2年宿泊体験学習と1年校外学習など、昨年まで縮小や中止していた学校行事もようやく復活し、学校も活力に満ちてきました。それらを全て上手に、楽しく、達成感のある学校生活にしてくれたのは、まぎれもなく東中生289名ですので、みなさん全員に感謝しています。頑張った分、この夏休みにちょっと一休みして、次のステップのためにエネルギーを満タンにしてくれたらうれしいです。

夏休みに心掛けてほしいことを全校集会で3つ話しました。①「自分の命を自分で守る」（危険回避）、特に交通事故（自転車運転中の事故）、水の事故には気を付けること。②「規則正しい生活を送る」（計画性）、時々家族と将来の夢や進路などを語り合うこと。③3年生は、半年後の受験に向けて、「点数や倍率の壁に正面から向き合って勉強をする」こと。8月23日には、全員の元気な笑顔を見られることを楽しみにしています。

7月18日から三者面談が始まっています。PTA総会でお話したように、10月通知表の所見欄がなくなったことに伴って、今回は学校での学習や生活の様子、今後の成長への課題など、生徒や保護者と顔を合わせて、いつもより少し詳しく伝えていきたいと思えます。実りある話合いになれば幸いです。

お願い



多くの生活用品の価格高騰が続いています。電気代もその一つです。今月、理科室や美術室等にもエアコンが増設され、ますます電気代アップが予想されます。8月から本校でも年間通して、省エネに取り組むことにしました。そこで、お願いです。生徒玄関を開ける時刻を朝7:00に、閉める時刻を20:00にします。現状では、7時前に登校する生徒もいますが、8月からは7:00以降に登校するよう保護者の皆様もご協力をお願いします。【始業時刻ぎりぎりに登校する生徒もいますが、できれば8:00くらいまでを目処に登校すると余裕をもって授業の準備ができます】



1年校外学習から五里合の梨園場見学



2年宿泊体験学習から田沢湖でのカヌー体験